

築地入荷数量・金額と資源量・漁獲量 について

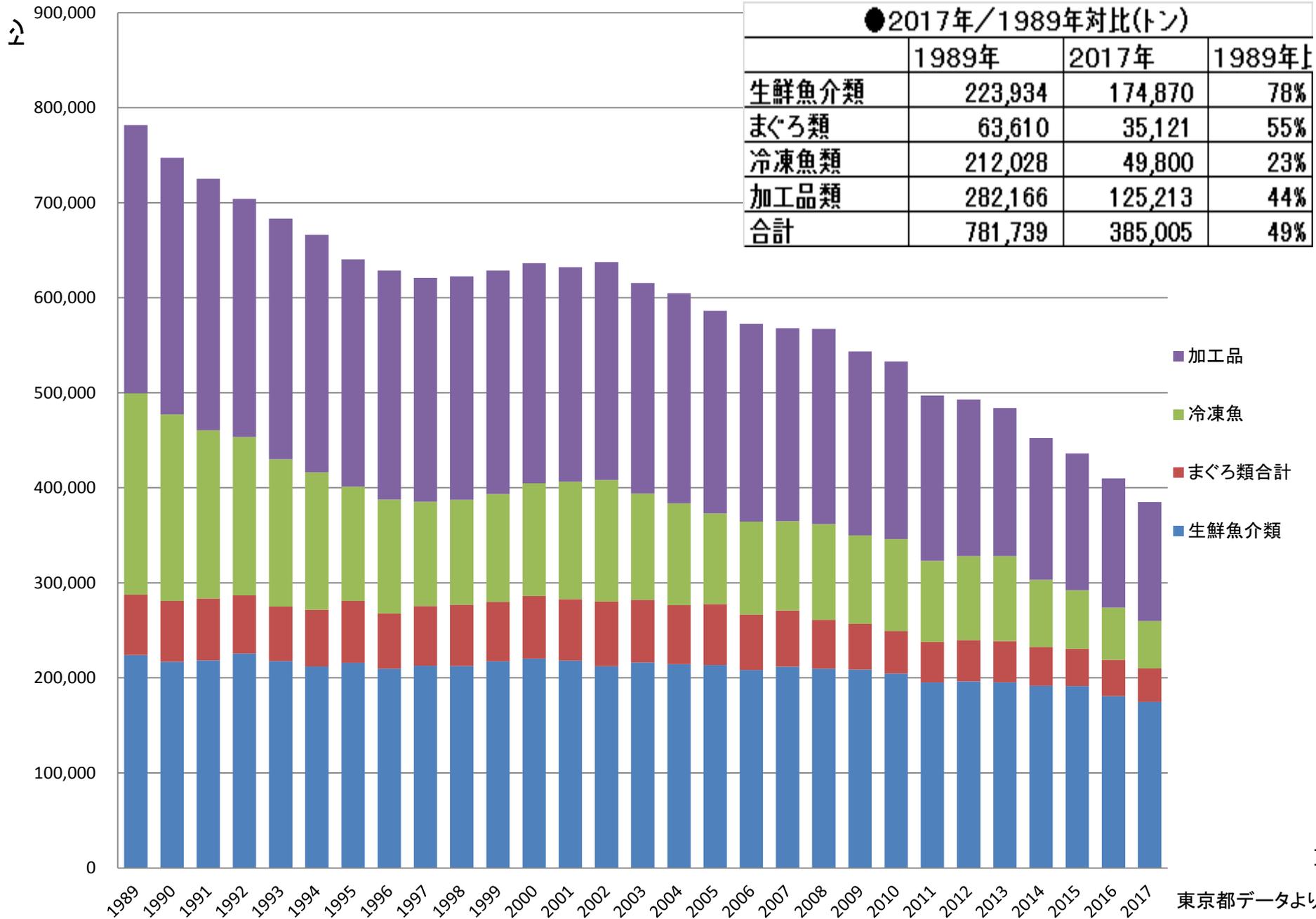
日経調高木委員会資料

平成30年4月27日

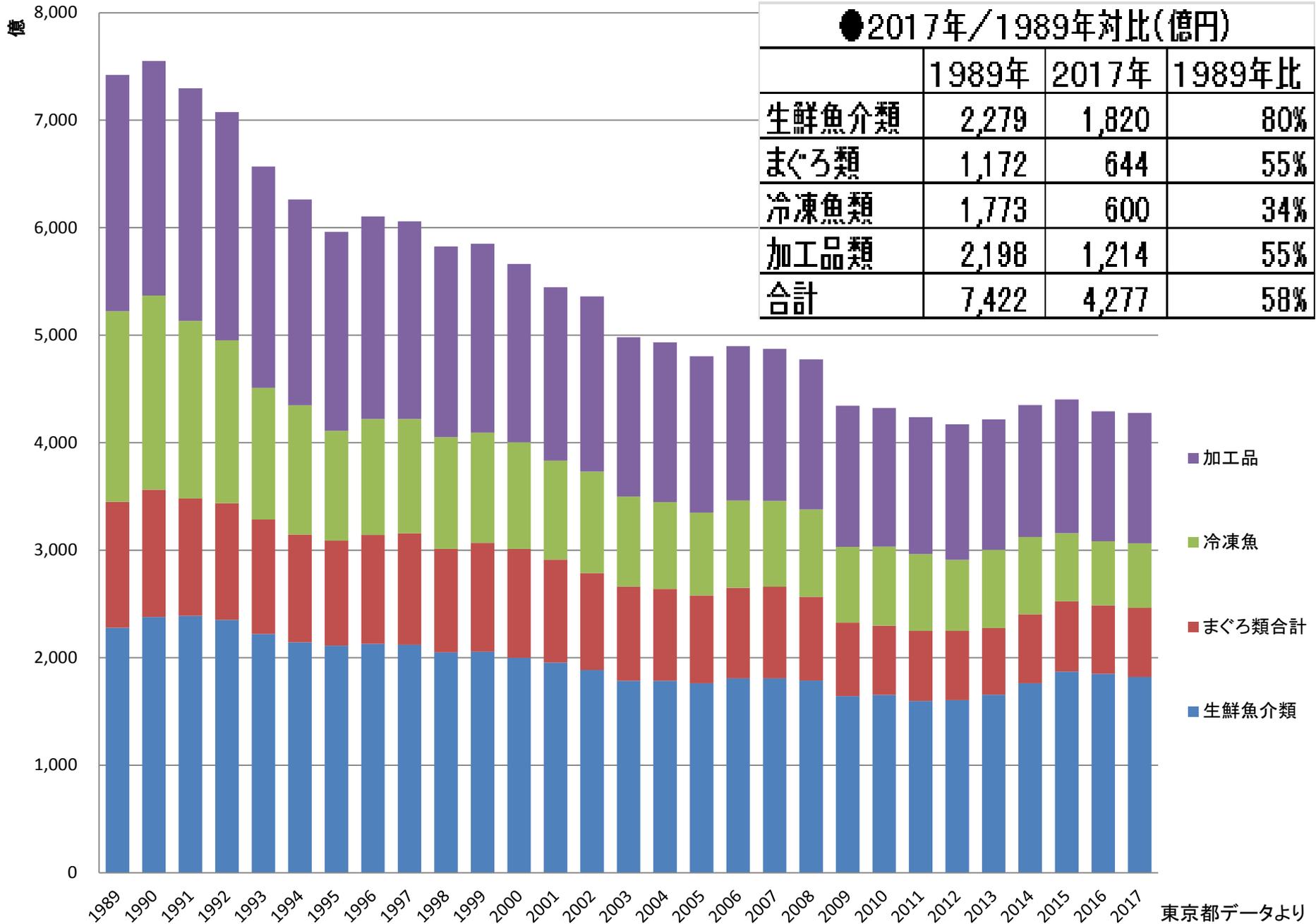
東京都水産物卸売業者協会

専務理事 浦和栄助

築地市場品目別入荷数量推移 単位:トン



築地市場品目別取扱金額推移(億円)



築地市場の入荷量・金額の減少の要因について

●2017年/1989年対比(トン)

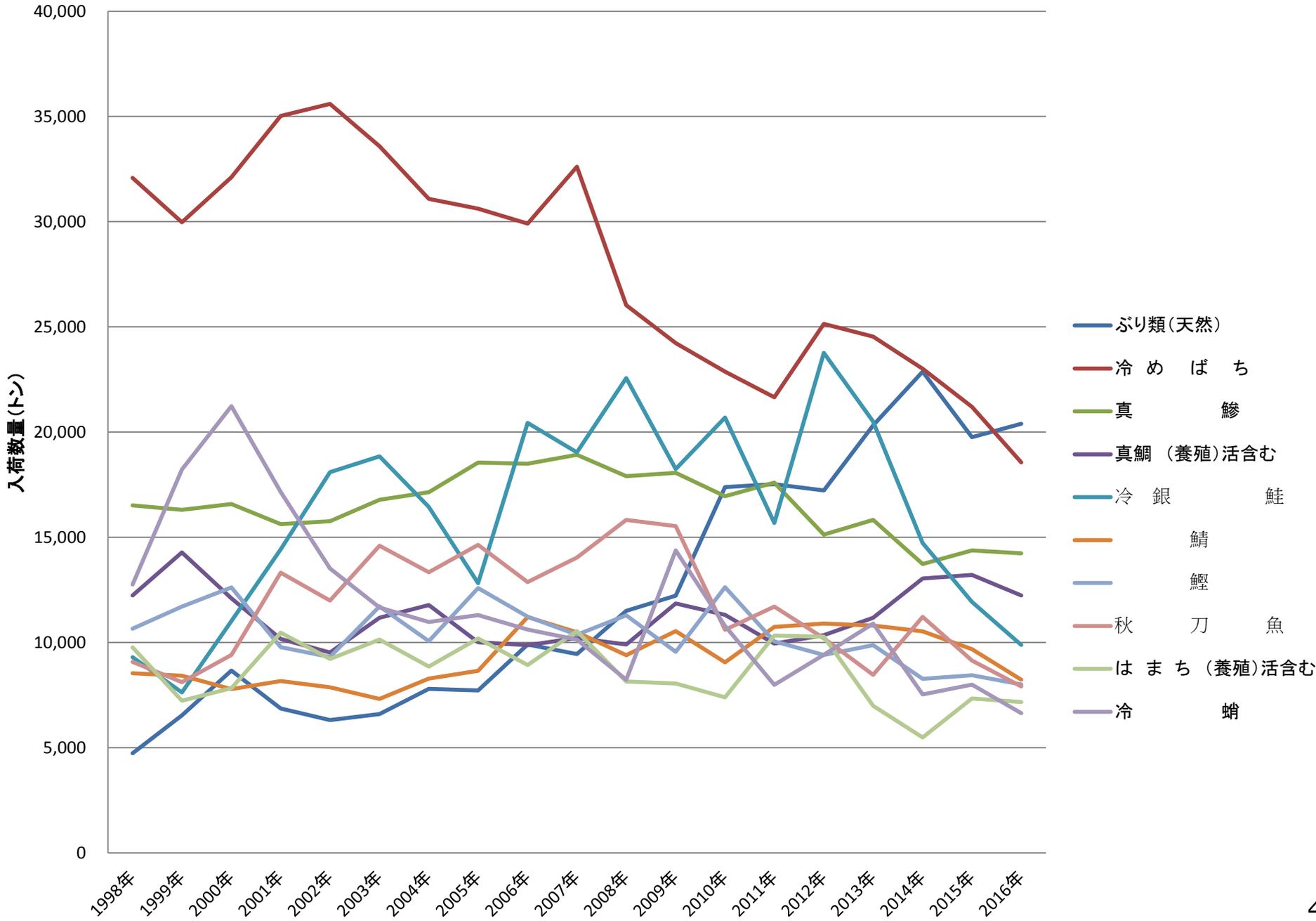
	1989年	2017年	1989年比
生鮮魚介類	223,934	174,870	78%
まぐろ類	63,610	35,121	55%
冷凍魚類	212,028	49,800	23%
加工品類	282,166	125,213	44%
合計	781,739	385,005	49%

●2017年/1989年対比(億円)

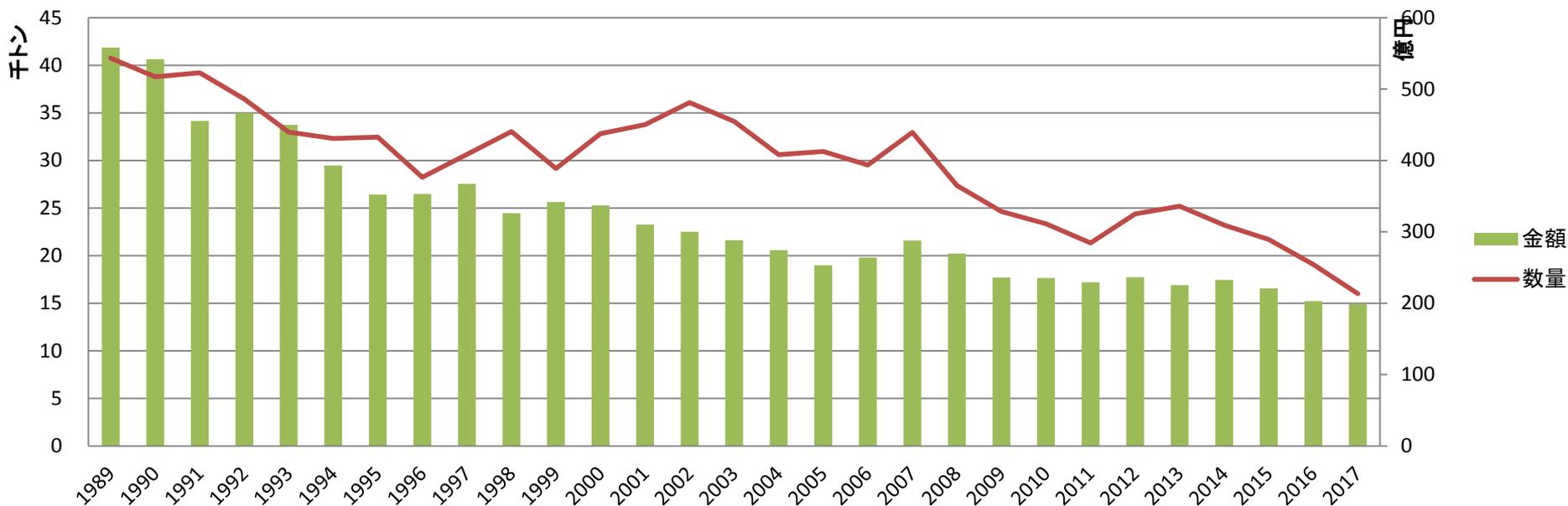
	1989年	2017年	1989年比
生鮮魚介類	2,279	1,820	80%
まぐろ類	1,172	644	55%
冷凍魚類	1,773	600	34%
加工品類	2,198	1,214	55%
合計	7,422	4,277	58%

- 築地市場全体は1989年と2017年比較で入荷量約半減、金額約6割
- 生鮮魚介類においては他商品群に比べ減少率が少ないが、これは築地市場が建値市場であることで、大衆魚が集荷できている事や飲食店等業務筋の顧客が多く、特種物関係の商品(高級魚)の販売ルートがある事が主な原因と考えられる。
- 鮪類については、クロマグロ・インドマグロ・メバチマグロ等の主要商品の資源的現象が大きく響いていると考えられる。
- 冷凍・加工品についてはそれ以上であるが、これについては場外流通が増えたことと、兼業扱(市場扱いにしない売上)の増加が影響しているものと思われる。

築地市場入荷数量ベスト10(2016年時点)経年変化

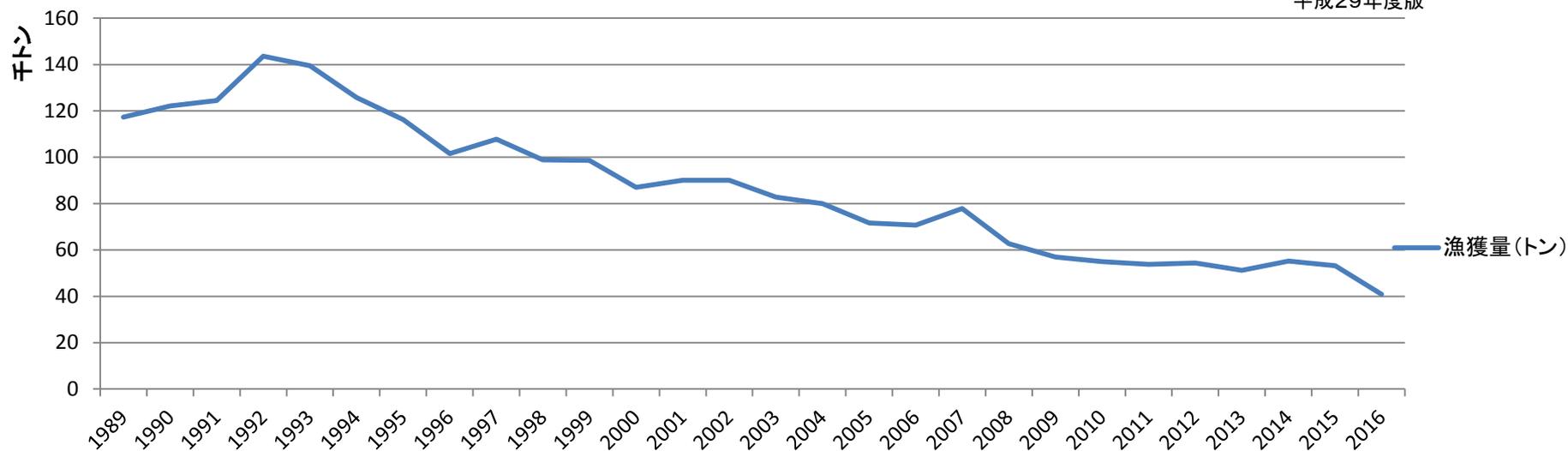


冷凍めばち鮪 築地市場入荷数量(千トン)・金額(億円)

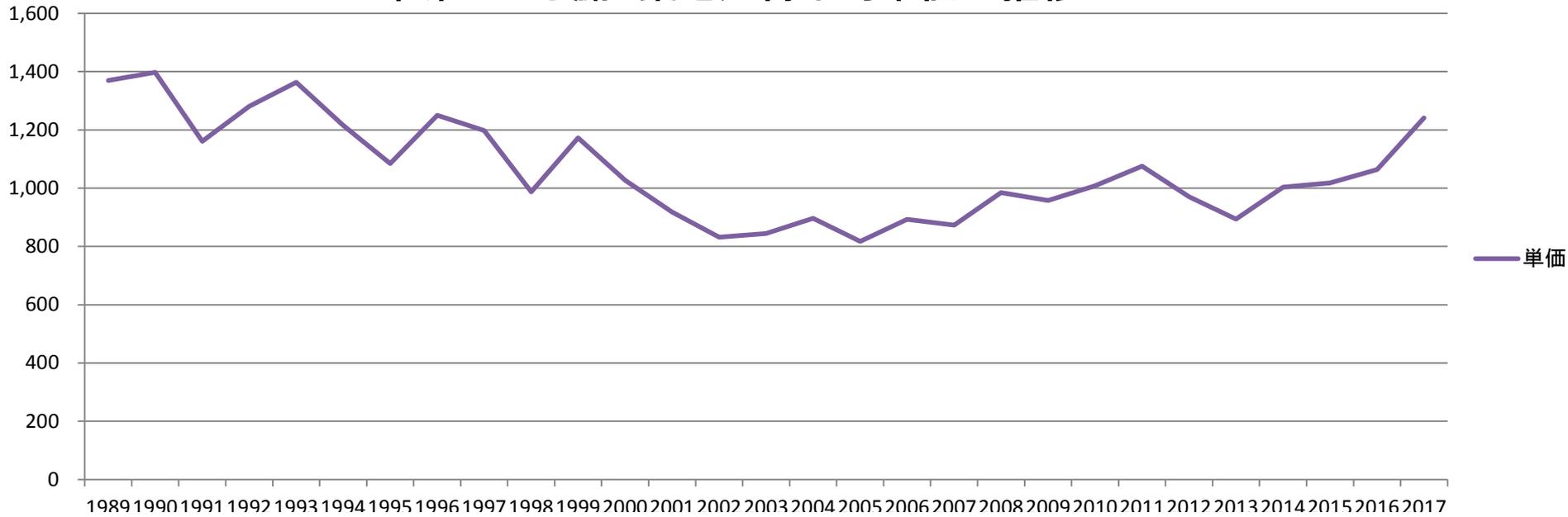


メバチマグロ 漁獲量(トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

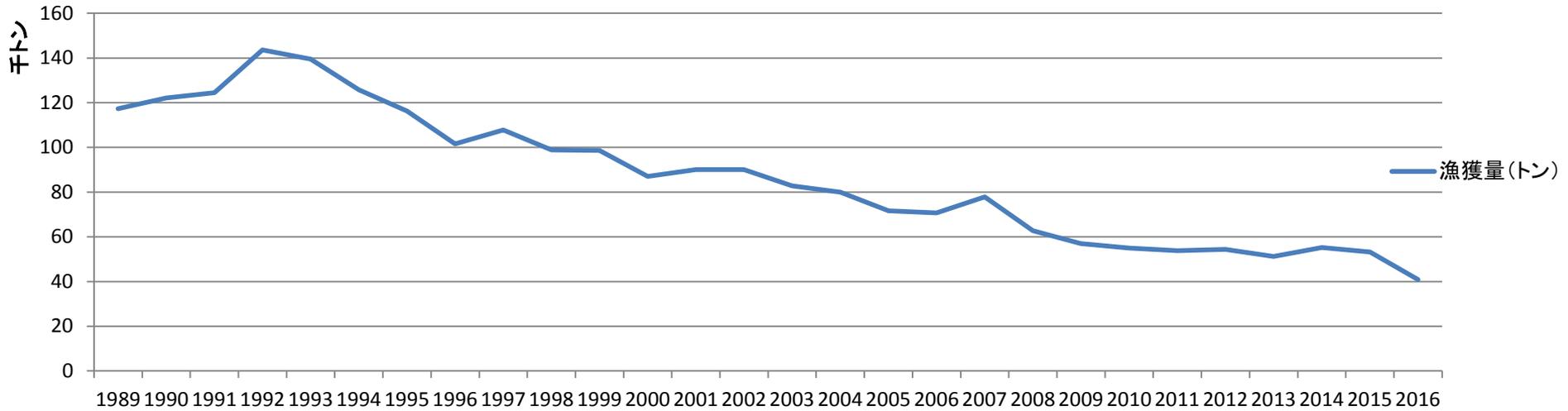


冷凍めばち鮪 築地入荷平均単価の推移

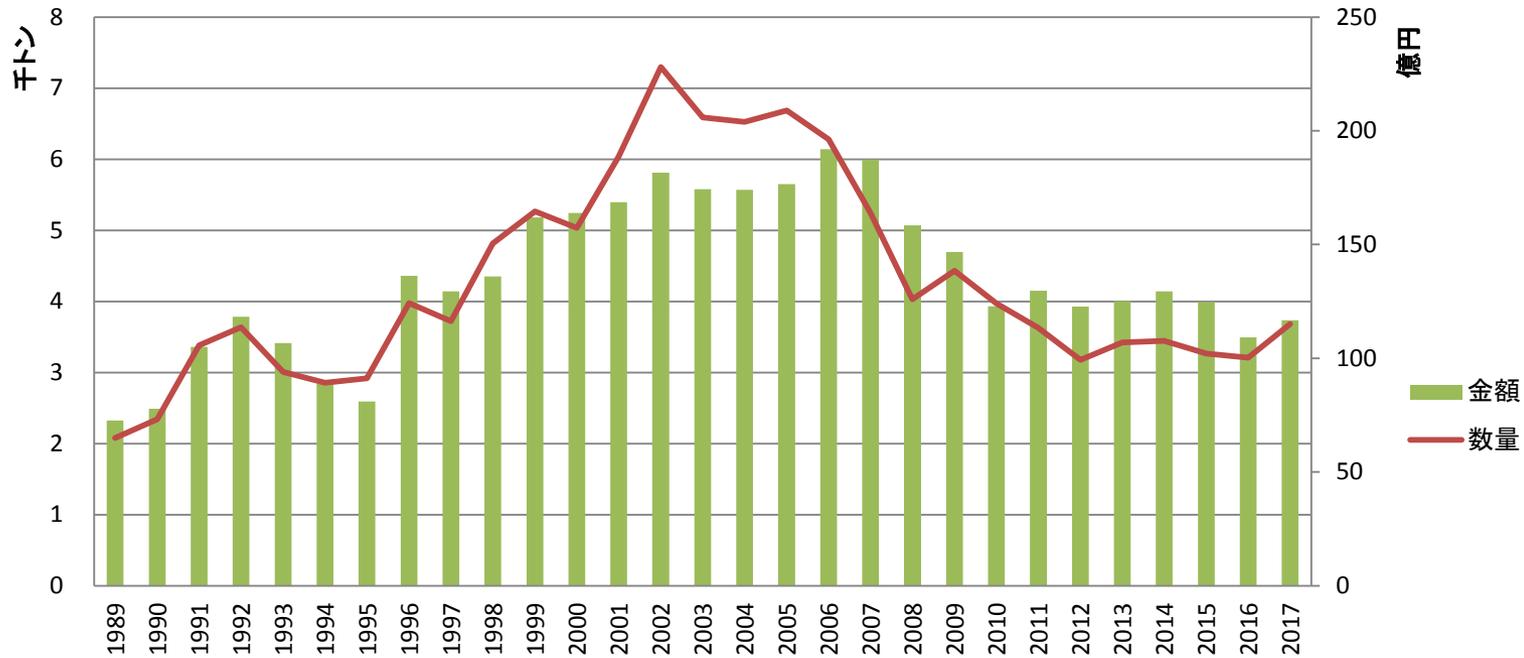


メバチマグロ 漁獲量(トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

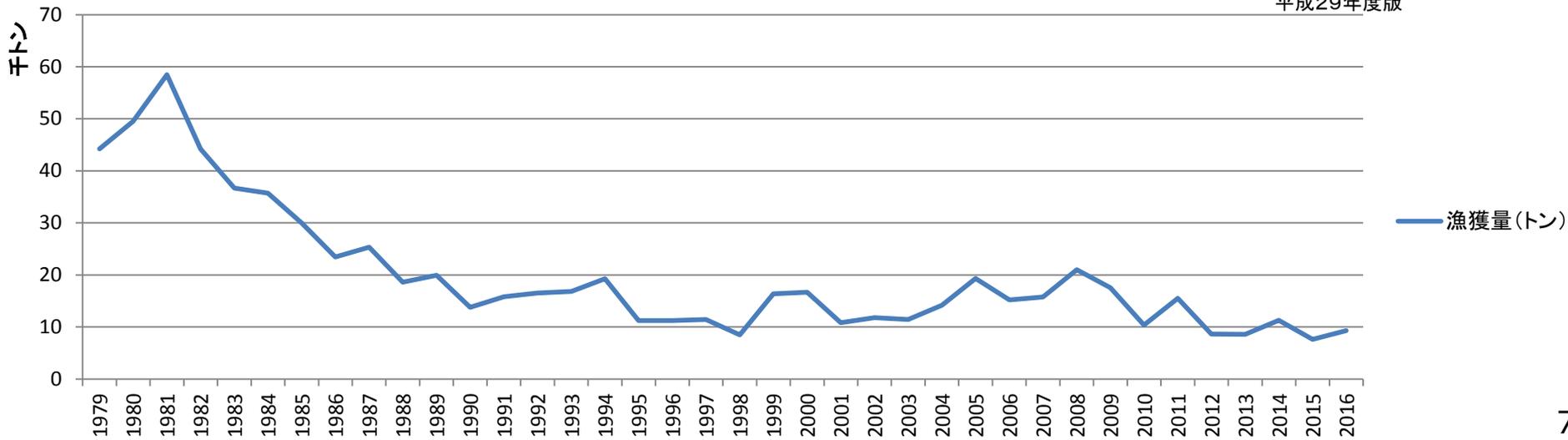


築地市場 冷凍本マグロ入荷数量(千トン)金額(億円)

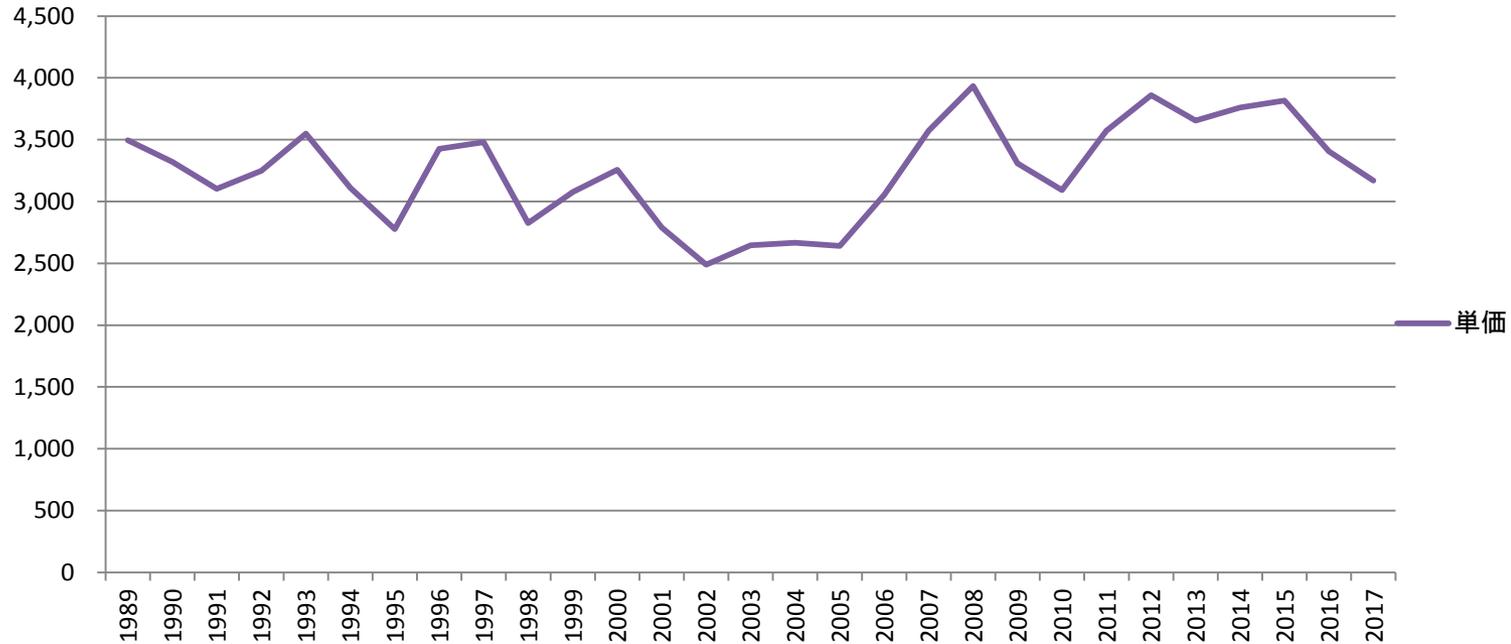


冷凍クロマグロ 漁獲量(トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

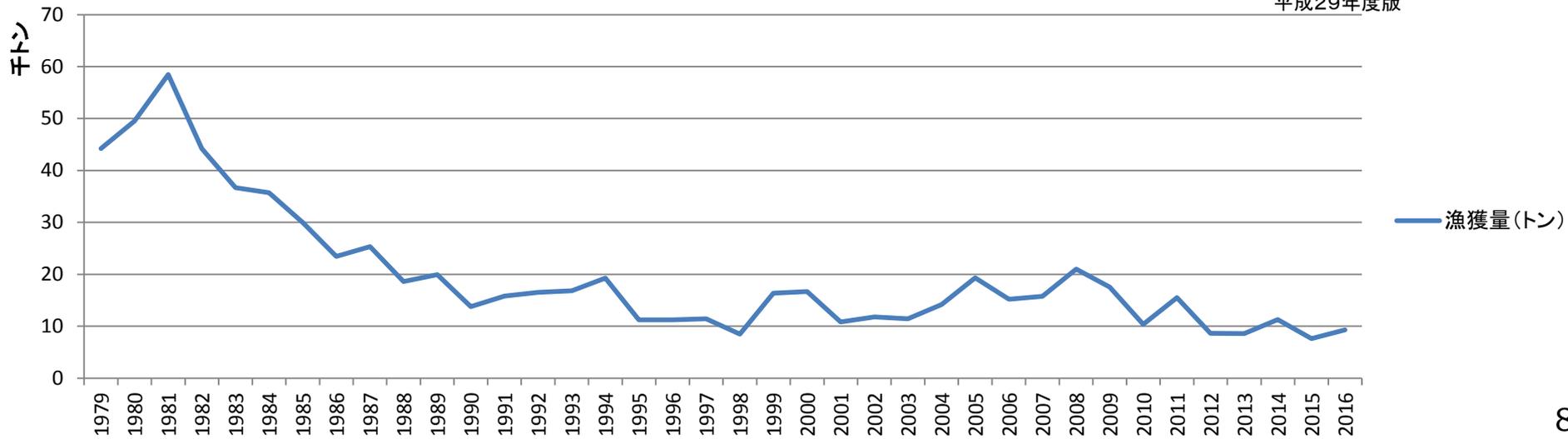


築地市場入荷 冷凍本マグロ単価(kg/円)推移

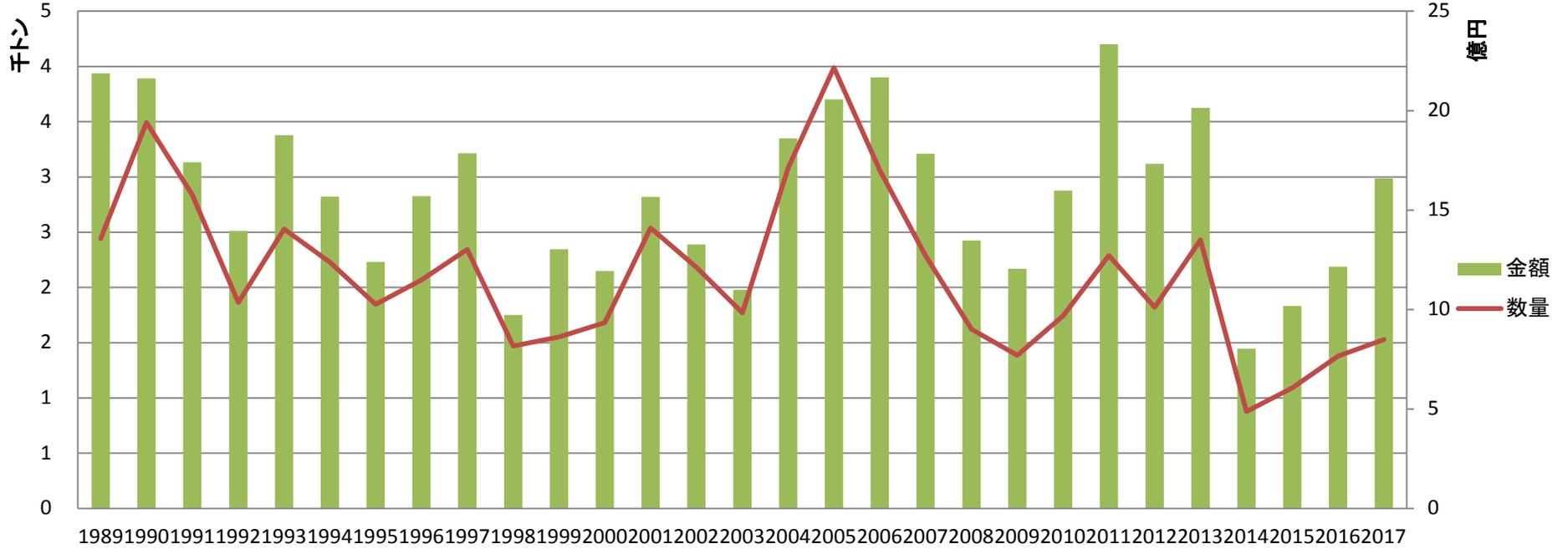


冷凍クロマグロ 漁獲量(トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

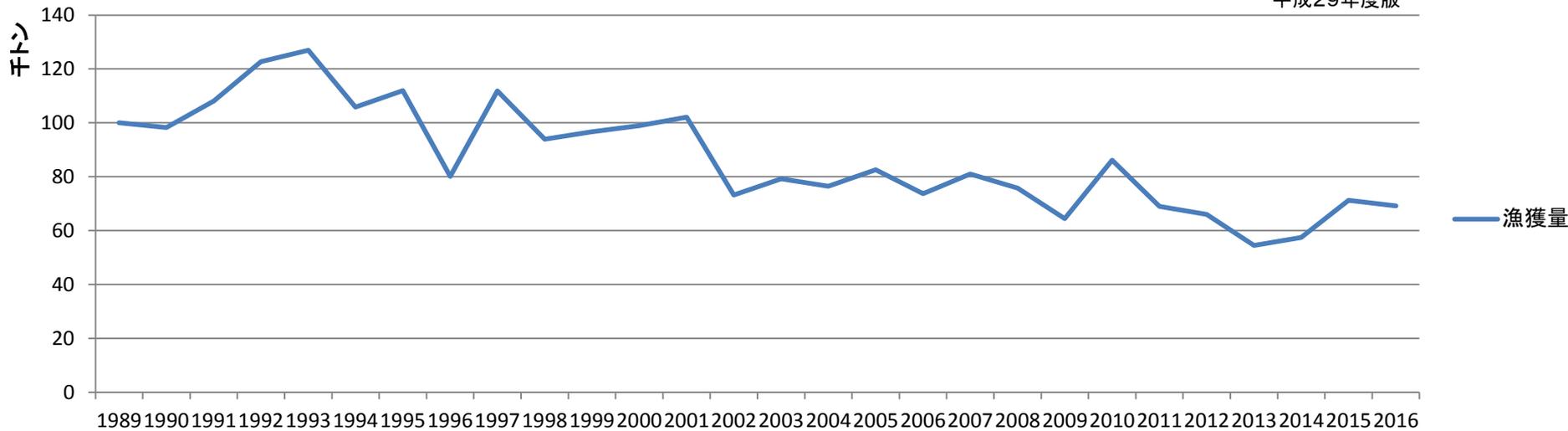


冷凍キハダマグロ 築地市場入荷数量(千トン)金額(億円)

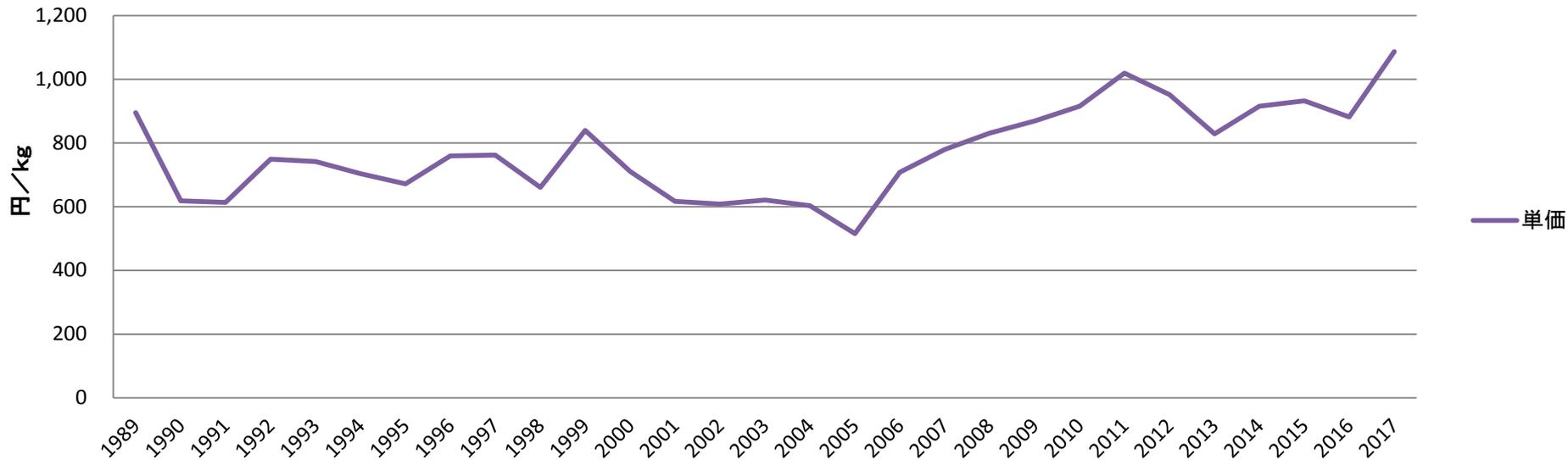


キハダマグロ 漁獲量(千トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

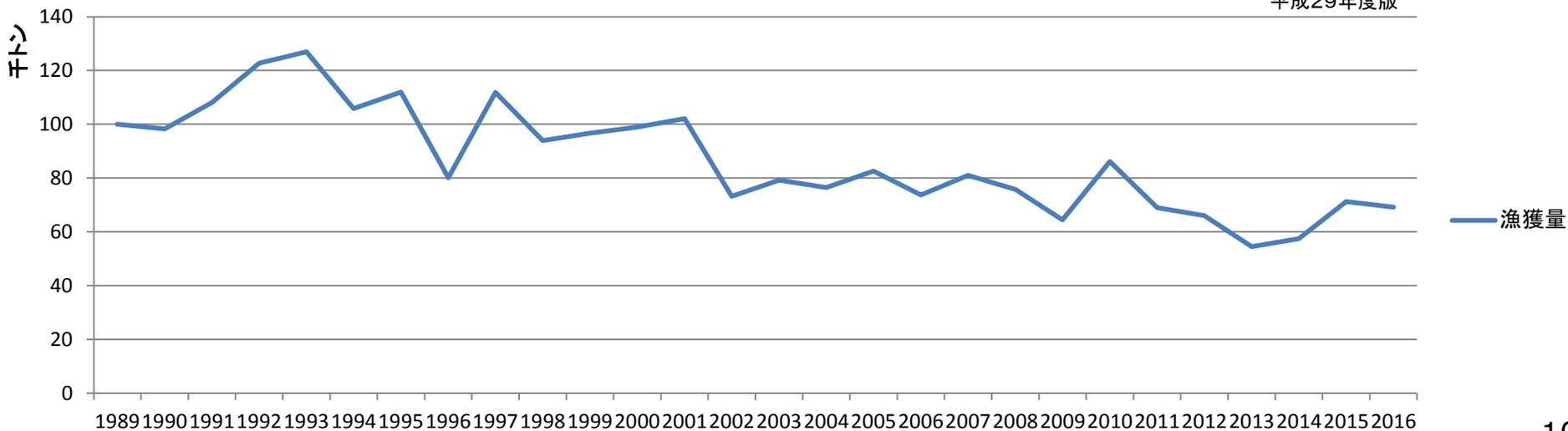


築地市場入荷冷凍キハダマグロ単価(円/kg)推移

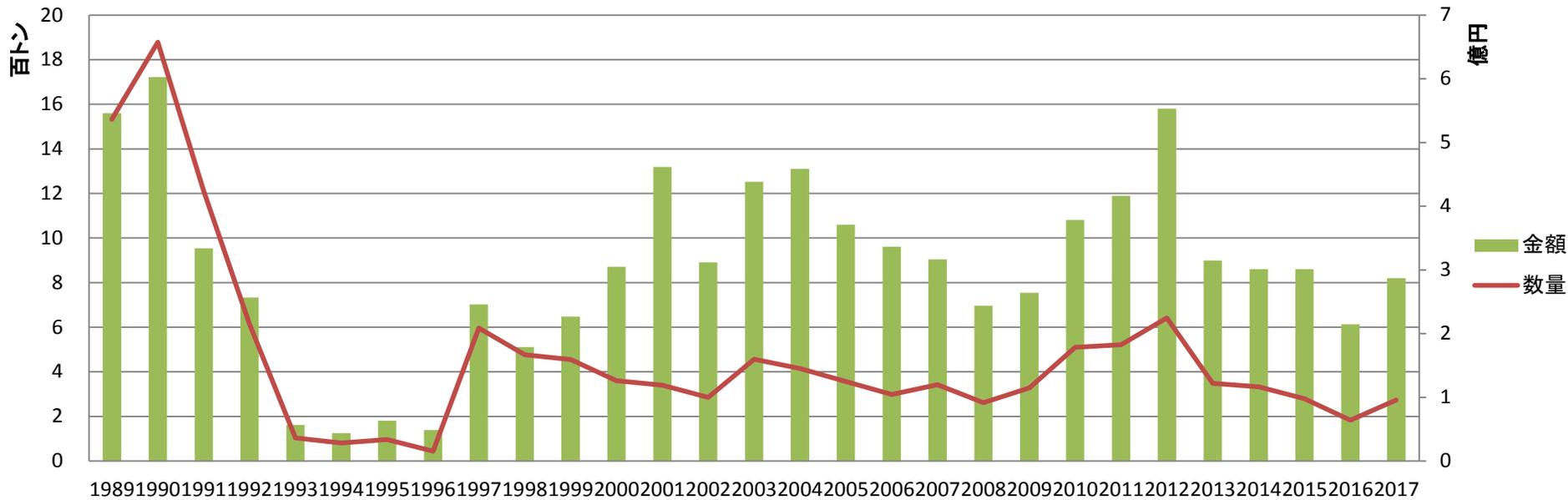


キハダマグロ 漁獲量(千トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

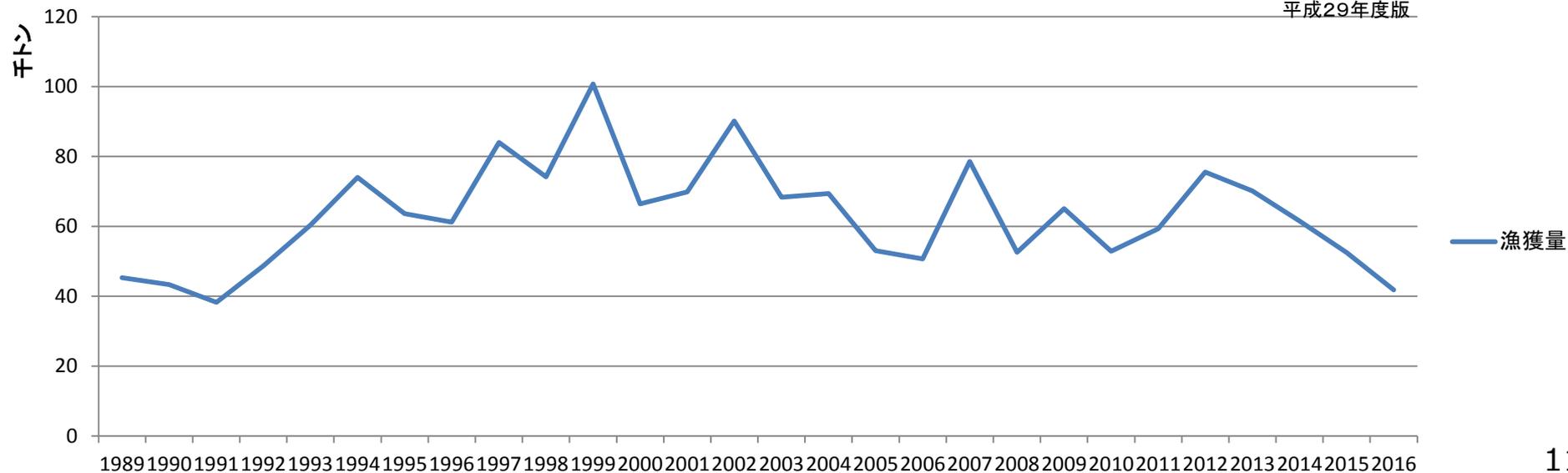


冷凍ビンナガマグロ築地市場入荷数量(百トン)金額(億円)

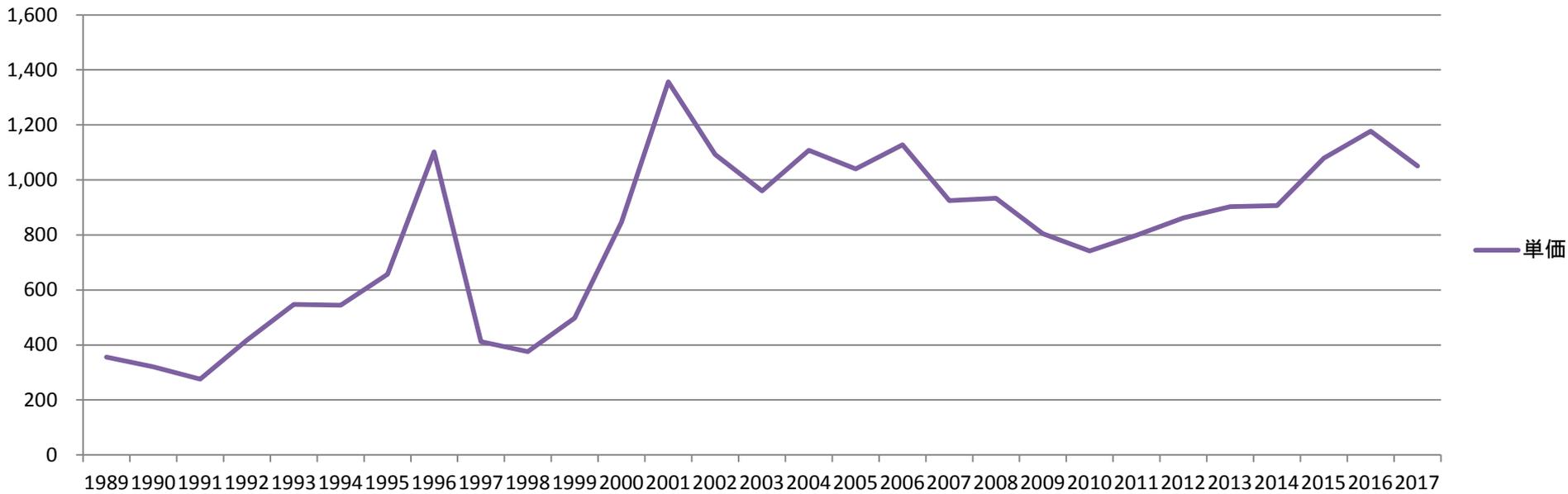


ビンナガマグロ漁獲量(千トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

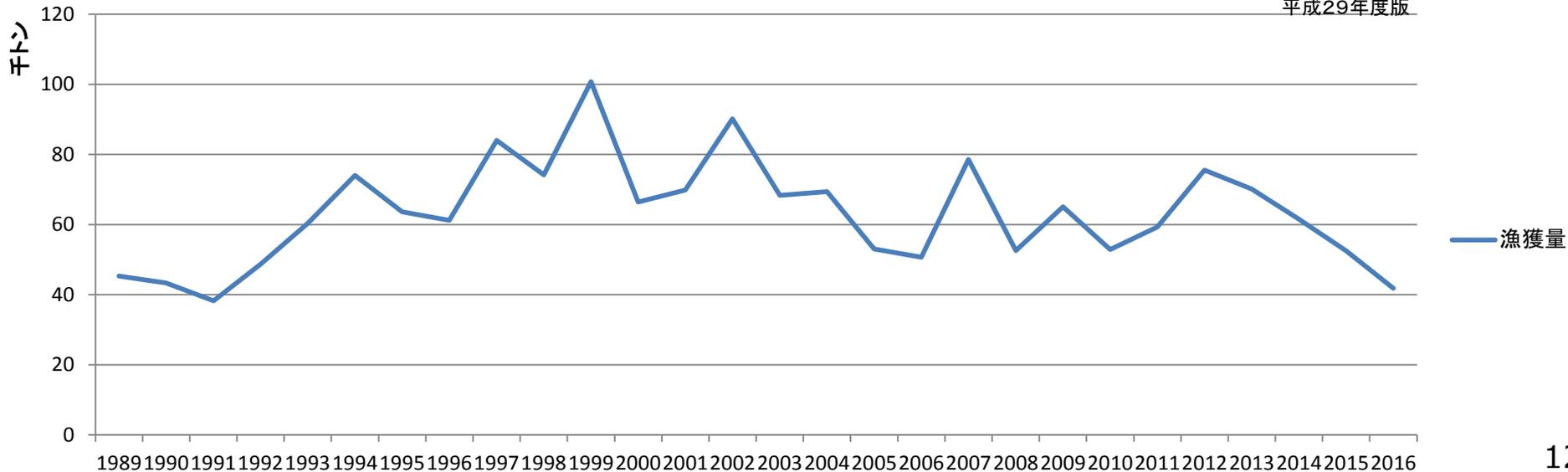


築地市場入荷 冷凍ビンナガ鮪 単価(円/kg)推移

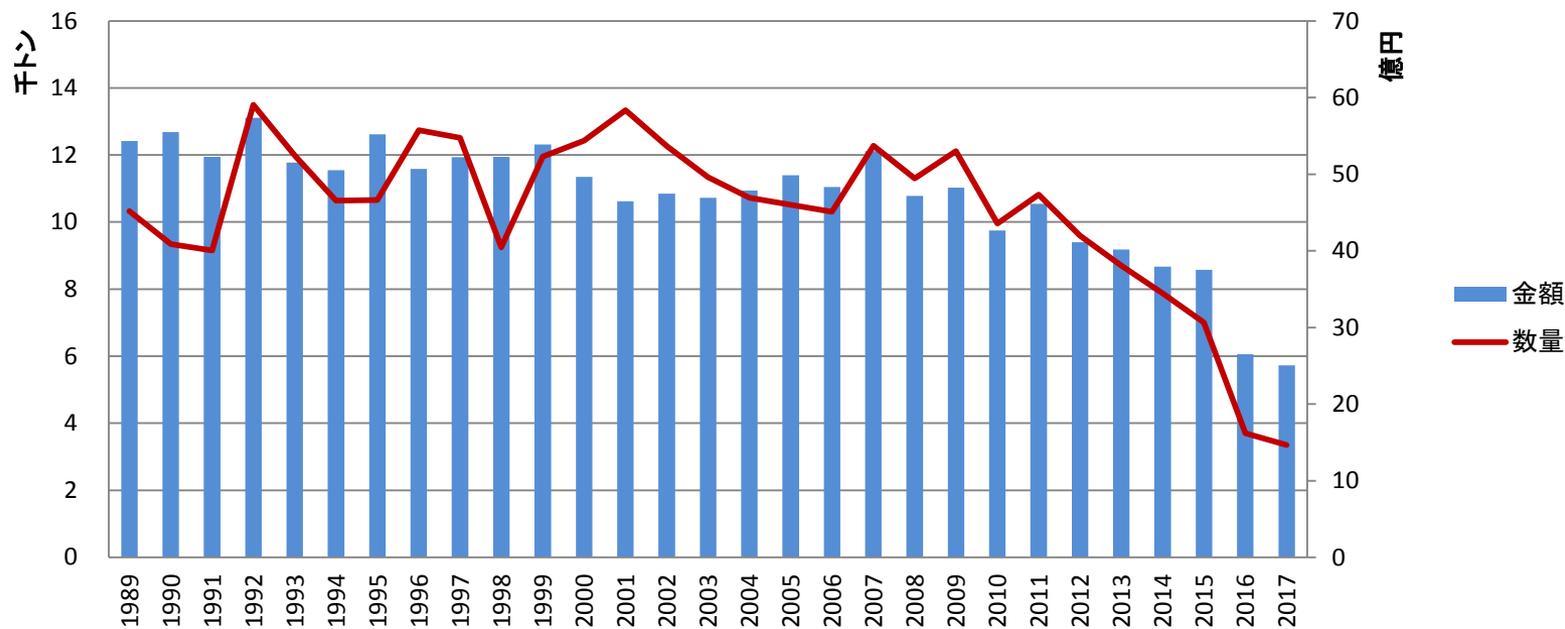


ビンナガマグロ漁獲量(千トン)

水産庁
国際漁業資源の現況
平成29年度版

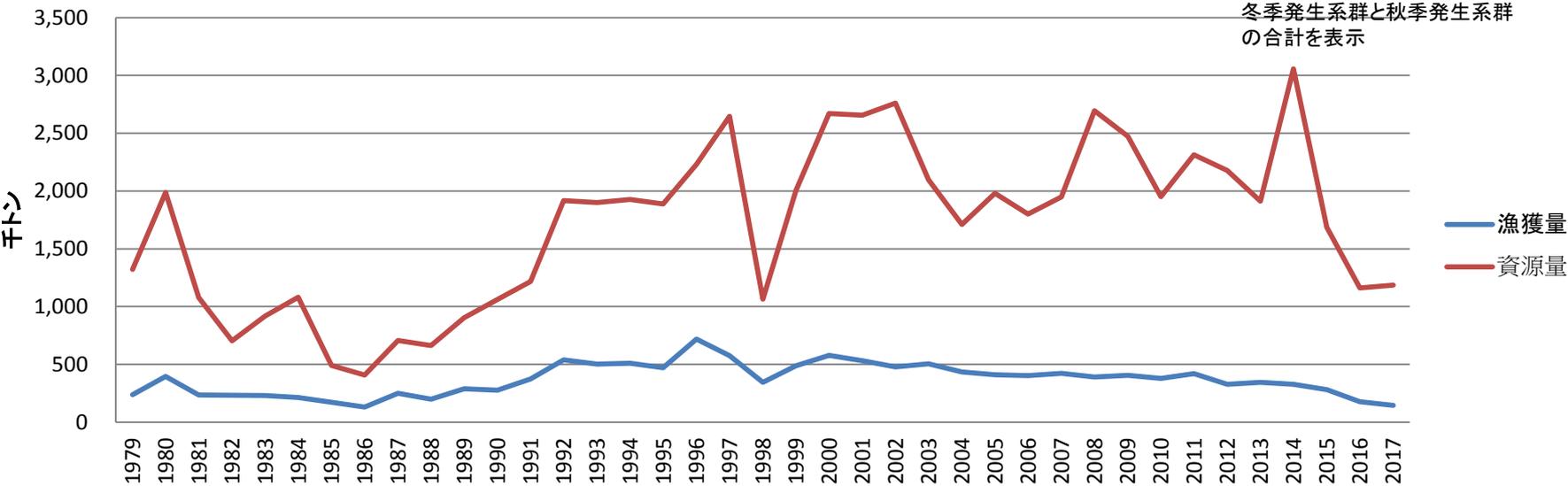


スルメイカ築地市場入荷数量(千トン)金額(億円)

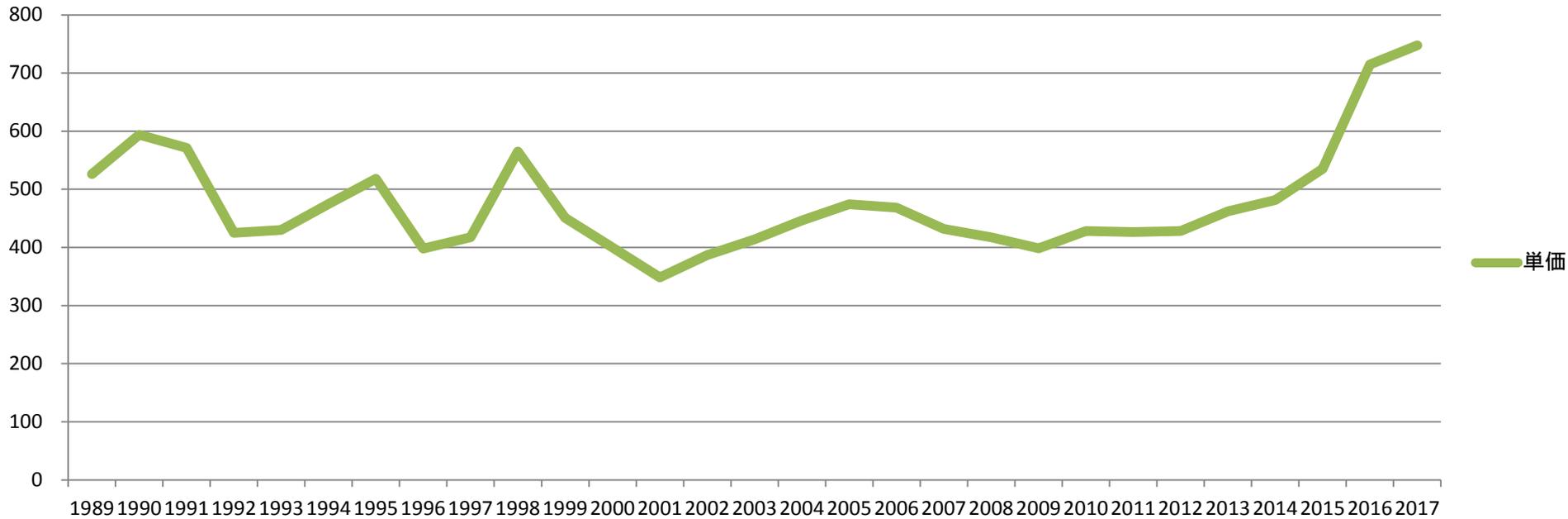


スルメイカ資源量・漁獲量(千トン)

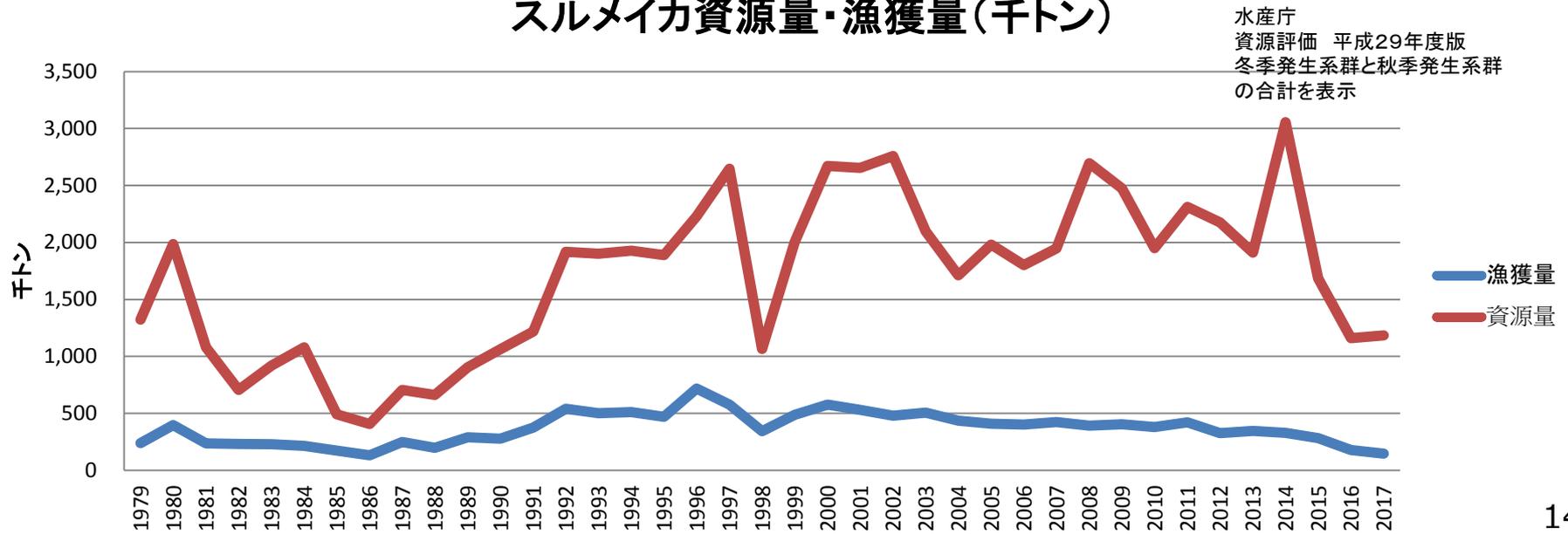
水産庁
資源評価 平成29年度版
冬季発生系群と秋季発生系群
の合計を表示



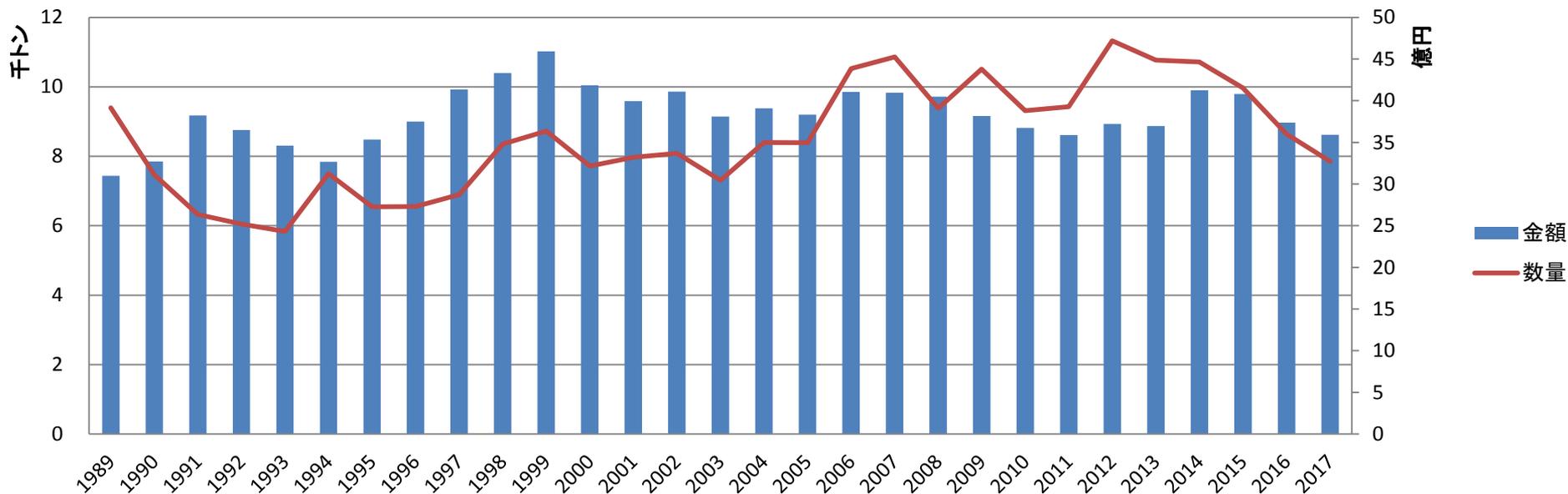
スルメイカ築地入荷平均単価の推移



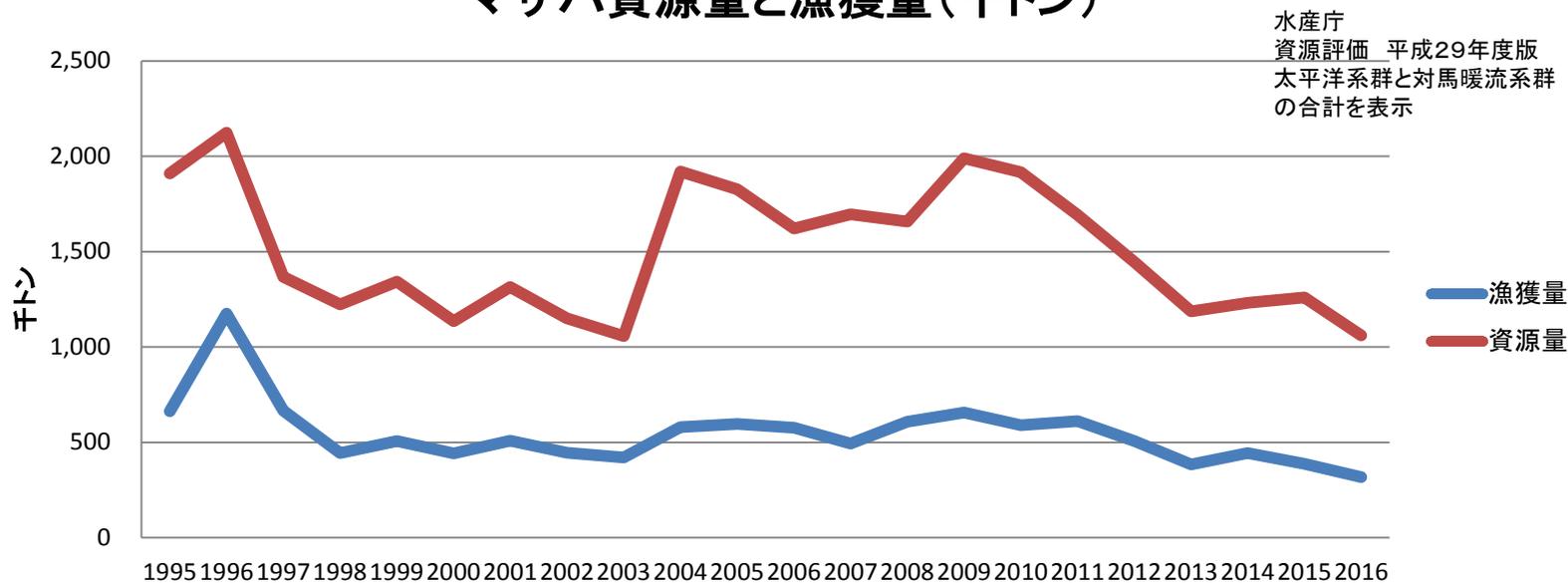
スルメイカ資源量・漁獲量(千トン)



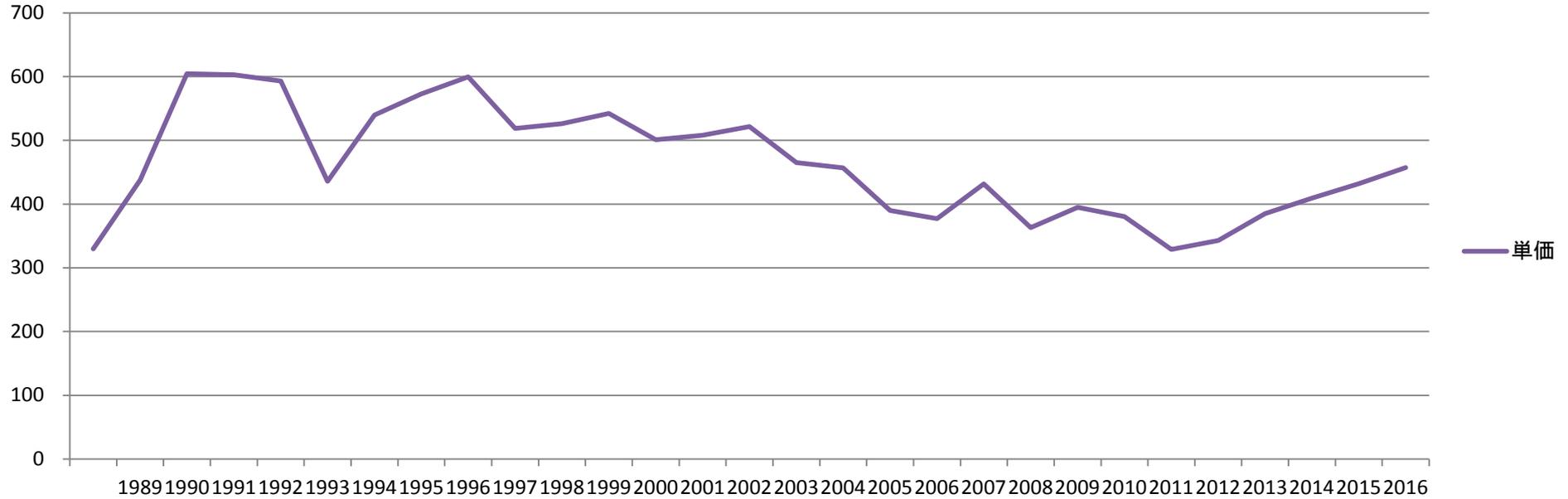
築地市場 サバ入荷数量(千トン)・金額(億円)



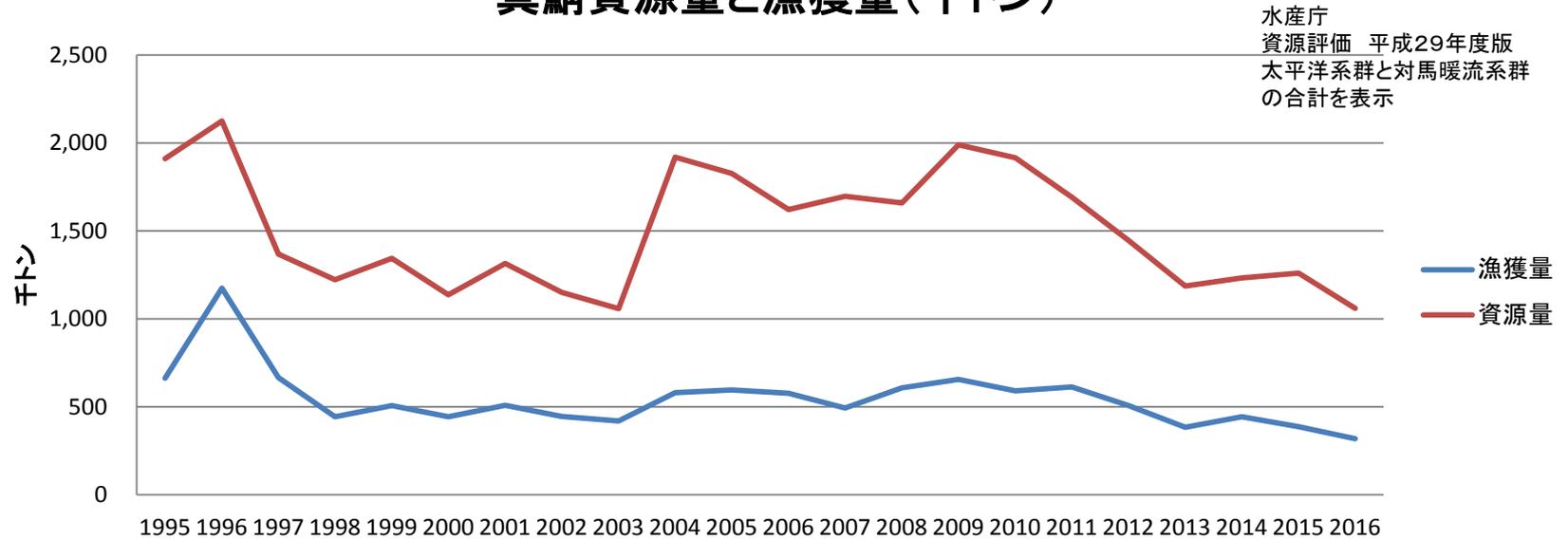
マサバ資源量と漁獲量(千トン)



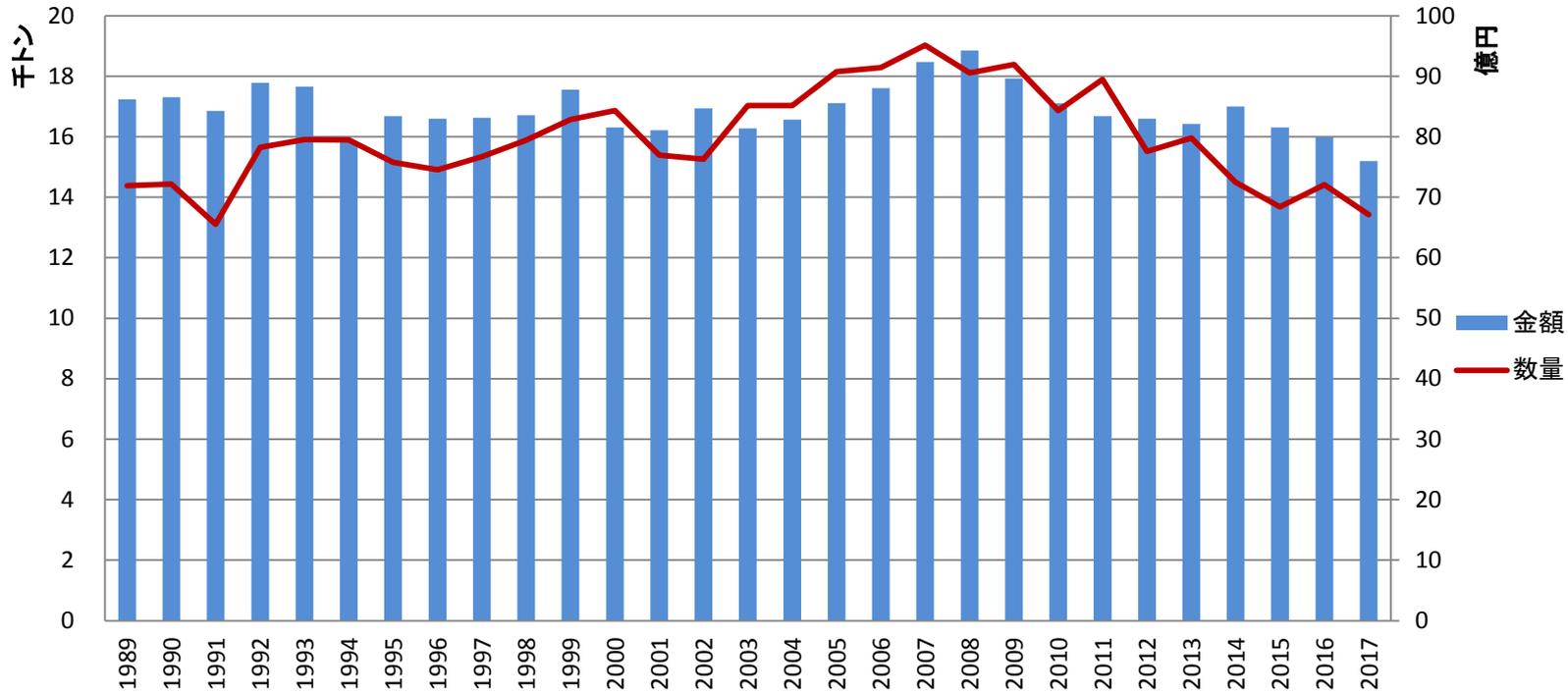
築地市場入荷 サバ単価



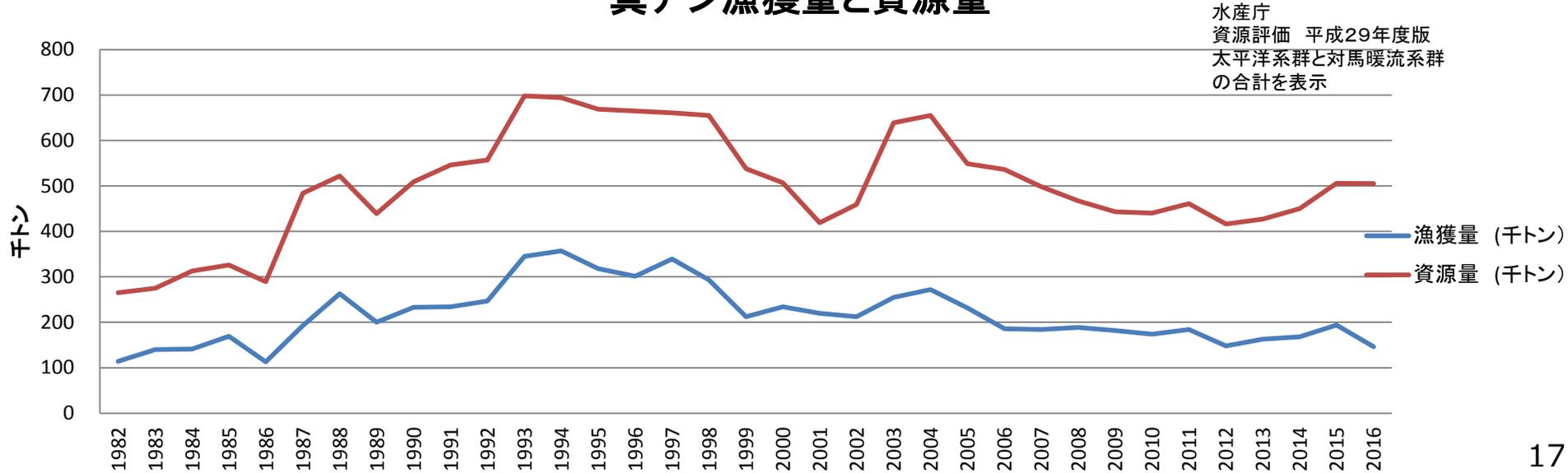
真鯖資源量と漁獲量(千トン)



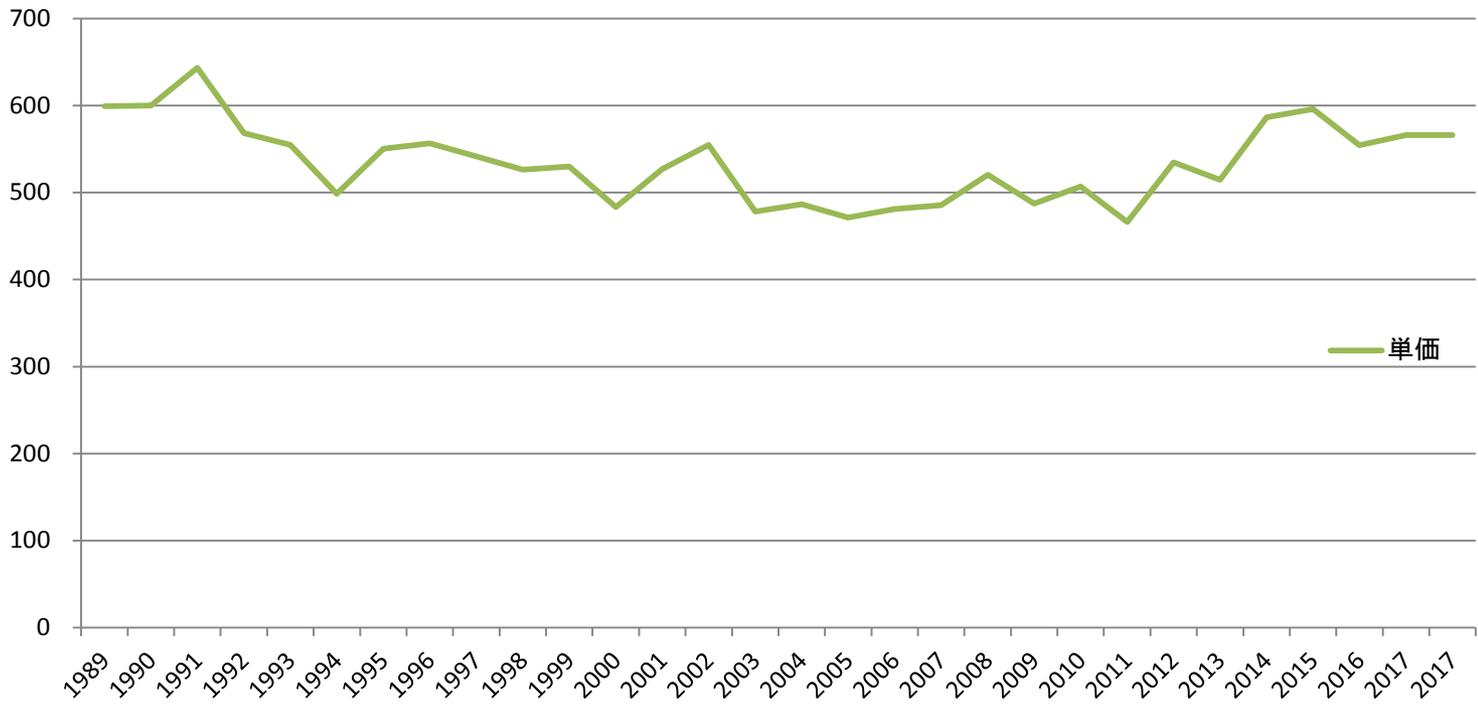
真アジ築地市場入荷数量・金額の推移



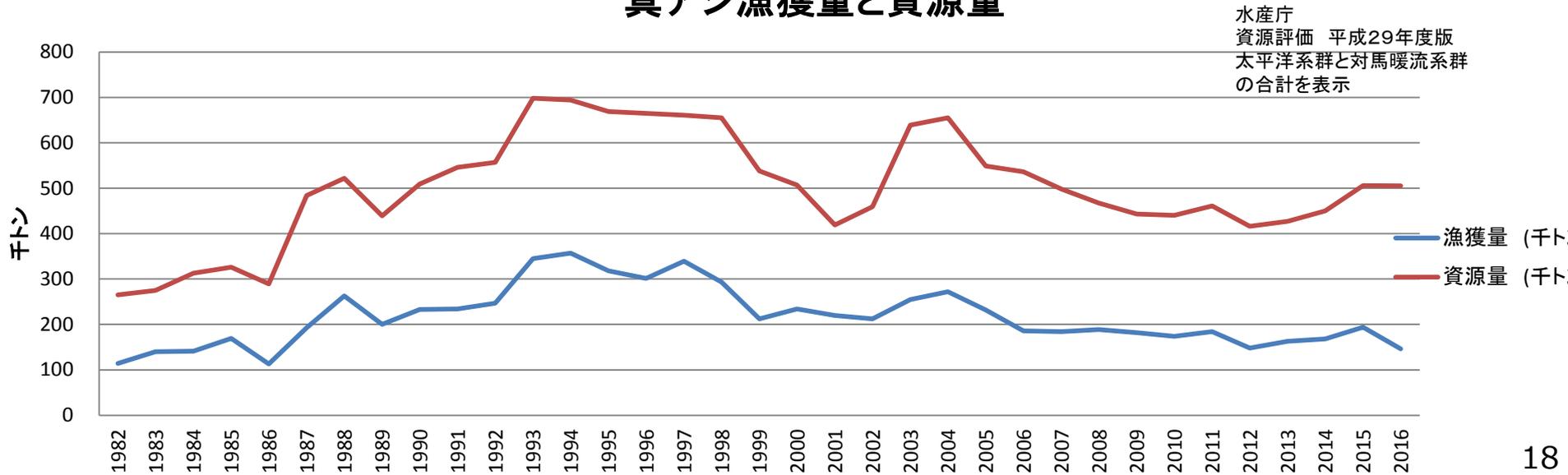
真アジ漁獲量と資源量



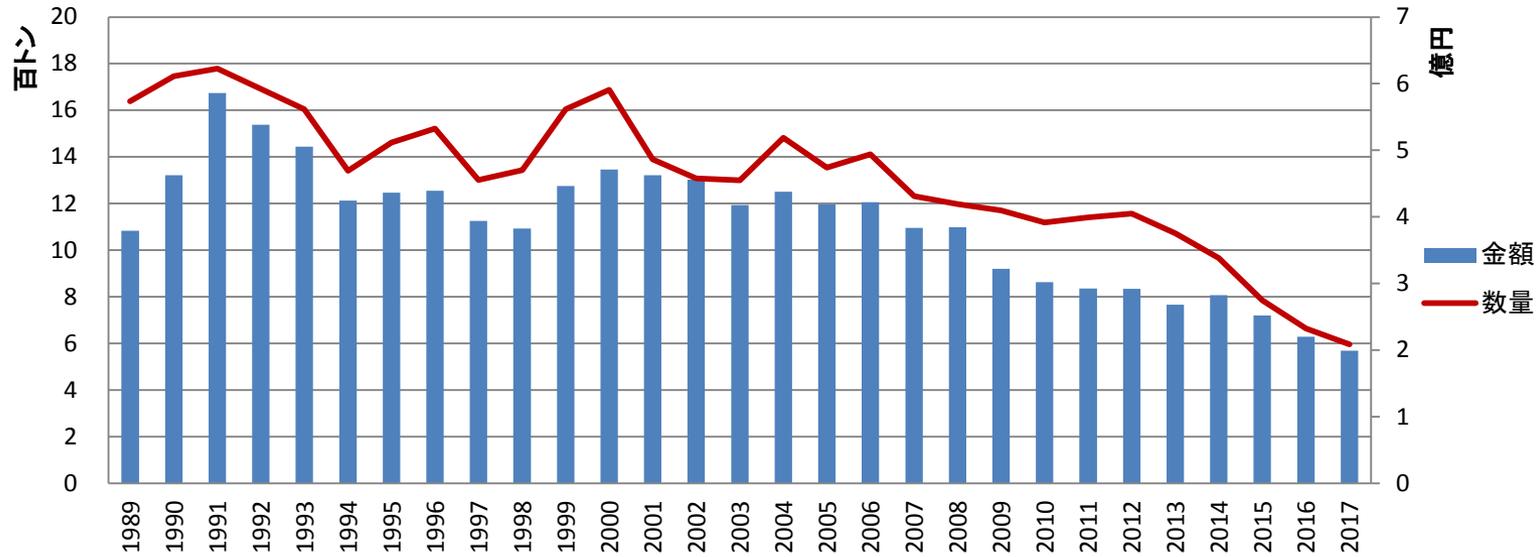
真アジ築地市場入荷 単価推移



真アジ漁獲量と資源量

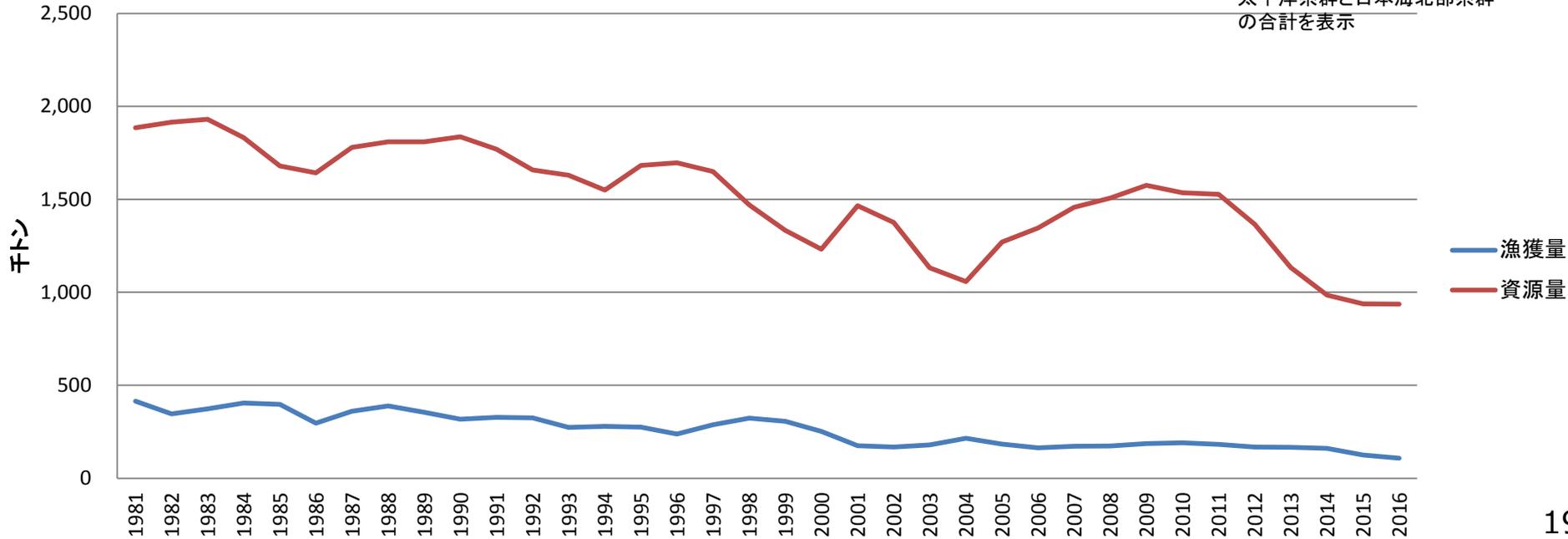


スケソウダラ築地市場入荷数量・金額の推移

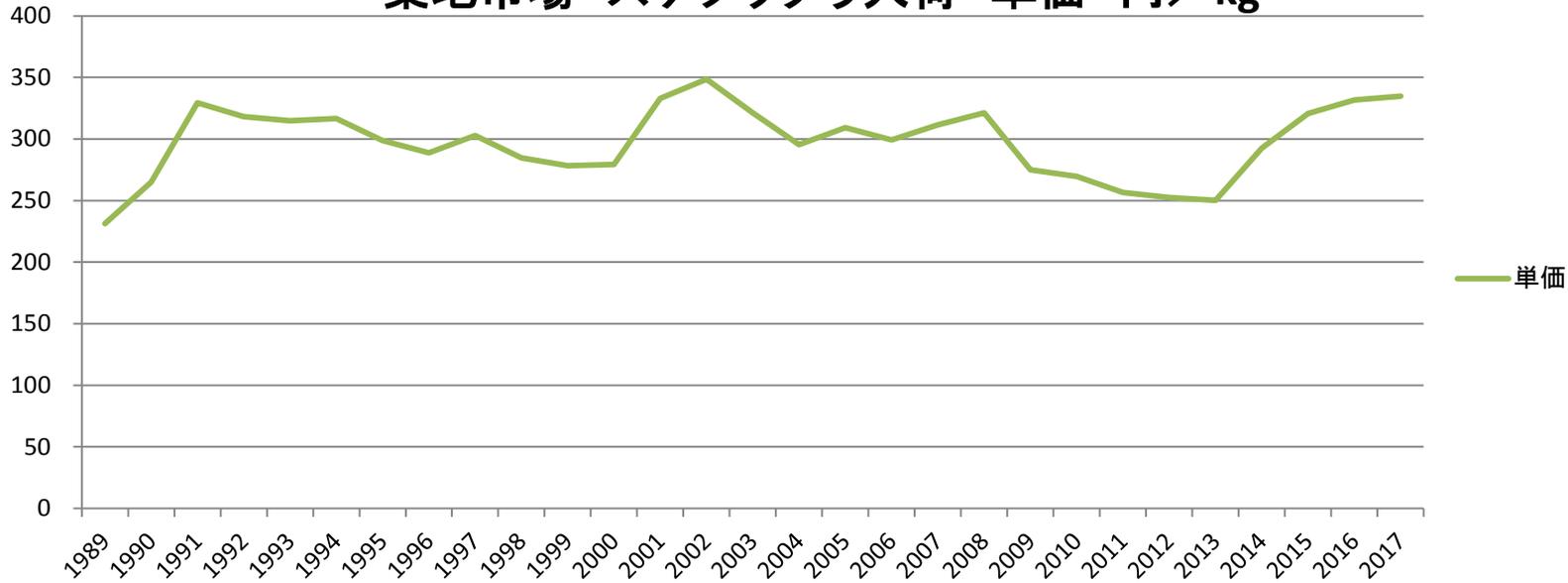


スケソウダラ資源量・漁獲量

水産庁
資源評価 平成29年度版
太平洋系群と日本海北部系群
の合計を表示

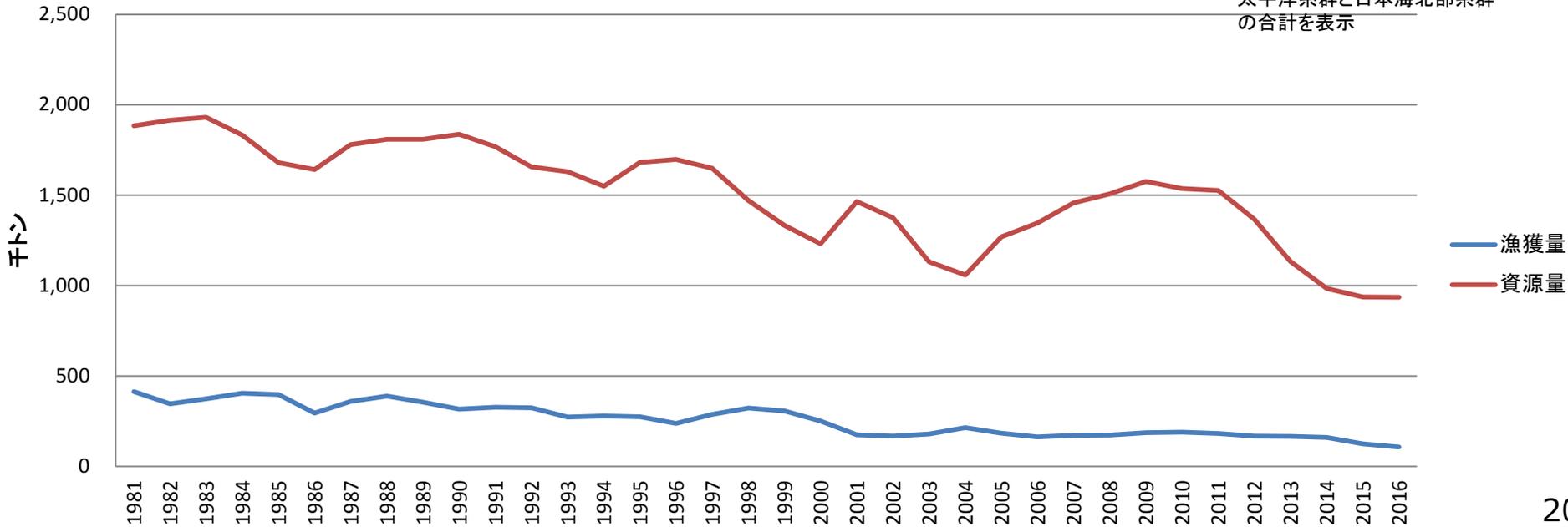


築地市場 スケソウダラ入荷 単価 円/kg



スケソウダラ資源量・漁獲量

水産庁
資源評価 平成29年度版
太平洋系群と日本海北部系群
の合計を表示



築地市場の入荷数量・金額と資源量・漁獲量の関係

- まぐろ類

冷凍メバチマグロについて、漁獲量の減少と市場入荷量は関係があるが、入荷数量の減少と、単価高騰は必ずしも連動していない。

冷凍本マグロについては2002年に入荷のピークがあるが漁獲量には1989年から一貫して減少傾向になる。単価は近年少しずつ上がってきている。

卸売市場法改正

受託拒否の禁止について

●現行法（差別的取り扱いの禁止等）

第36条 卸売業者は中央卸売市場における卸売の業務に関し、出荷者又は仲卸業者若しくは売買参加者に対して、不当に差別的な取り扱いをしてはならない。

2 卸売業者は第15条第一項の許可に係る取扱品目の部類に属する生鮮食料品等について中央卸売市場における卸売のための販売の委託の申込みがあった場合には、正当な理由がなければ、その引き受けを拒んではならない。

○新法案（中央卸売市場の認定）

第4条 5項—5—5 受託拒否の禁止

卸売業者は、その取引品目に属する生鮮食料品等について当該卸売市場における卸売のための販売の委託の申込みがあった場合には、農林水産省令で定める正当な理由がある場合を除き、その引き受けを拒まないこと。